

消費者庁からのお知らせ

◆福島県産の米の放射性物質検査結果

福島県産の米については、平成26年度（11月27日時点）の検査では、放射性セシウム基準値（100Bq/kg）を超える数値は検出されていません。

品目	検査点数	放射性セシウム量 (Bq/kg)		
		50以下	50~100	100超
全袋検査分 (福島県)	1,016万	1,016万	10	0
抽出検査分 (福島県を除く 16都県)	1,291	1,291	0	0

◆最近の野菜や果物の放射性物質検査

地方公共団体は、食品の放射性セシウムの検査を行っています。安全性の基準値を超える可能性のある地域・品目は、特に検査を強化しています。

原子力災害対策本部により検査対象とされている17都県（東北6県、関東7都県、新潟県、山梨県、長野県及び静岡県）の平成26年度（11月27日時点）の検査では、野菜、果実で放射性セシウム基準値（100Bq/kg）を超える数値は検出されていません。

品目	検査点数	放射性セシウム量 (Bq/kg)		
		50以下	50~100	100超
野菜※	12,719	12,719	0	0
果実	2,955	2,953	2	0

※タケノコ、わさびは「きのこ・山菜類」に含まれます。

◆福島県のブランド米「天のつぶ」

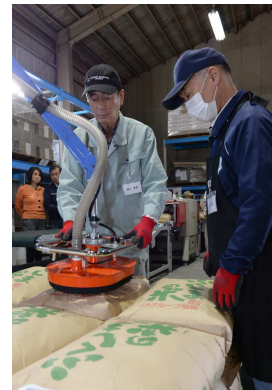
「天のつぶ」は、福島県が15年の歳月をかけて開発した品種です。穂が出るときに天に向かってまっすぐ伸びる稲の力強さと、天の恵みを受けて豊かに実る一粒一粒のお米をイメージして命名されました。



草丈が短いので倒れにくく、病気にも強いため栽培しやすい品種とされ、安定した品質と収穫も期待できる食味の良い品種であり、復興のシンボルと位置づけられています。

◆世界初 福島県産米の「全量全袋検査」

東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射能への不安から、福島県産の農林水産物の消費に甚大な影響が出ました。米は、国民の主食であるため、特に消費者の関心が高く、安全性にも厳しい目が向けられています。



そのため、福島県では、収穫後は出荷前に全ての



県内産米を検査する「全量全袋検査」を実施し、基準値を超える米を流通させないようにしています。

消費者が安心できる  
お米のために  
～福島県の米生産の現場から～



“東北未来がんばっぺ大使”の秋吉久美子さんが福島県伊達郡国見町の米生産者を平成26年11月に訪問し、交流・対談を行いました。

食品の風評被害防止に向けて

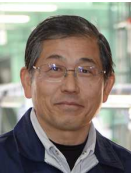


## 秋吉大使と現場の皆さんとの対談



### 小坂アグリ皆さん

「天のつぶ」生産に力を入れている小坂アグリ(株)の朽木勝之さん(左上から順に)、黒田勝夫さん、赤坂正弘さん、仲野博行さん。



### 佐藤 長一さん

国見町地域農業再生協議会の全量全袋検査場の検査責任者。



**全量全袋検査を徹底しています。基準値を超えたお米は一切流通しません。(佐藤さん)**

**佐藤さん** 福島県内では、平成24年産米以降、生産や検査体制を整えました。具体的には、田植え前の段階で、除染や放射性物質吸収抑制対策を実施しています。また、収穫後には、全てのお米を検査する「全量全袋検査」を実施しています。

**秋吉さん** 全量全袋とはすごいですね。



**佐藤さん** これは世界で初めての取組です。基準値を超えたお米は一切流通しませんので、福島県産米を安心して食べてもらいたいです。

**福島県のブランド米「天のつぶ」に期待するところは大きいですね。(秋吉さん)**

**秋吉さん** 新しい品種の「天のつぶ」をいただきました。甘みがあり、とても美味しいです。



売行きはいかがですか。

**朽木さん** この福島県のブランド米「天のつぶ」は、いよいよ今年から県外向け販売が本格化しているものです。売行きは良いようです。

**秋吉さん** お米は震災以前の販売環境に戻ってきていますか。

**朽木さん** 残念ながら、福島県産米が一番最後まで残ってから取引されると聞きます。値段は、どの地域のお米も下落傾向が続いていますが、中でも、特に福島県産は下がっているということです。

**秋吉さん** 全量全袋検査で安全性は他県産と遜えないのに、おかしいですね。そうした中、この福島県のブランド米「天のつぶ」に期待するところも大きいですね。パッケージのデザインも素敵です。

**朽木さん** 天の文字を分割し、空をイメージする紺色、豊穡の黄金色、福島県民の熱い心を表す赤色を用いて、人とお米の絆を表しています。

**秋吉さん** 現代は全国各地に様々なブランド米があります。この「天のつぶ」も、例えば贈答品として送られた方が、「あら、「天のつぶ」だわ。うれしい。」というようなものになればと思います。

ところで、朽木社長は、今年、ある大役を果たさ

れたそうですね。

**朽木さん** 今年の皇居で行われた新嘗祭(にいなめさい)に、ここ国見町からは53年ぶりとなる献穀の役を務めました。この名誉は私一人ではなく、この土地で米作りをする全員のもので。我々皆で、励みにしていきます。

**これからもこの地で生産されたものを食べていてもらいたいです。(朽木さん)**

**朽木さん** 震災の年は、生産した米から放射性物質が検出され、このまま作っても売れないのではないかと心配しました。その後は、数値は安定しており、基準値を超えるものは出ていません。

**秋吉さん** 東北の人は寡黙だから、損をしていますよね。我慢強く、一步一步積み重ねていくことも大事ですが、生産者としてのアピールも大事だと思います。もっと、頑張っている姿や声を表現して、発信してもいいかなと思います。

**朽木さん** 震災の年に生まれた孫たちはずっと、この地で生産されたものを食べてきています。これからも、この地で生産されたものを地元の人を始め、多くの人に食べてもらいたいと考えています。

